

緊急提言

首都東京の「**平和で平等な長寿社会**」こそ日本の誇り —今回の都知事選の国際的、歴史的、現実的な使命—

今度の都知事選の主要3候補には女性（小池）・実務性（増田）・都民視点の公開性（鳥越）という特徴があります。それぞれに立場があり課題があり都民にとって有用ですが、都民視点の公開性（鳥越）が現実的で主たる世論といえるでしょう。

また争点になる ①経済（カネ・景気・雇用） ②医療・福祉 ③オリンピック とともに、**憲法を生かした「平和都市」東京を実現します** という鳥越候補の主張は、参院選では不確かであったわが国の「平和」にかかわる民意の所在を明確にするために国際的・歴史的観点からも重要な政策です。わたしたちは鳥越候補のこの主張を強く支持します。

首都東京で暮らして一貫して「平和な街」を体現してきたのは都民の4人にひとりに達した高齢者です。とくに社会的存在として軽視され、争点の外に置かれている元気な高齢都民です。「支え手」として潜在力をもつこれらの人びとに以下のようなテーマで呼びかけることで選挙戦の関心を引き上げる契機になると思います。

「住んでよし」「働いてよし」「環境によし」を実現する東京を！

だれもが、いつまでも社会参加できる健康長寿の東京を目指します

という「格差のない地域社会」を、「76歳の挑戦」をいう鳥越候補が政策として掲げることで、若者のスポーツの祭典「オリンピック」で訪れる人びとにも、東京が「長寿」を世界に誇れる先進性としているというメッセージになると確信いたします。

「地球丸ごと高齢化」といわれる国際社会で、最速のスピードで高齢化を遂げている日本では、65歳以上の高齢者はすでに3400万人に達しています。これまで高齢者は「支えられる弱者」として位置づけられ、医療・介護・福祉・年金の対象として配慮されてきました。

定年を迎えてもなお活用できる「知識・技術・資産」を保持する「元気な高齢者」、これらの「支える側の現役シニア」は、社会貢献を求め、少子化で人口が減った労働力を支える潜在力を持っています。「人生90年時代」を体現しながら新しい国づくりの担い手として登場してきています。「アベノミクス」より年輪を重ねた人びとの経験（知識と技術）を活かした「**エイジノミクス**」に重点を置いて、「青少年＝成長力、中年＝成熟力、高年＝円熟力」という三世代力を合わせた経済社会の形成こそ成熟した首都・東京の目標とすべきです。

東京の宝・職人を大切にするマイスター制度を拡充します

とくに「**エイジノミクス**」は鳥越候補が政策として掲げて訴えることを望みます。

すべての世代が持つ力と心を寄せあって、すべての世代が安心して暮らせる東京をつくり上げて行くこと。国際都市・東京を拠点として「**平和で平等な長寿社会**」のモデルづくりの先頭に立っていただくことを期待します。それが平成時代を生きるわれわれの切なる願いであり国際的、歴史的、現実的な使命に連なると信じるからです。

平成26年7月18日

朝日新聞社社友 元「知恵蔵」編集長

高齢化問題ジャーナリスト 「月刊文風」編集人

堀内正範